

活動報告

団体名	NPO 法人おおむた・わいわいまちづくりネットワーク
活動名	広域避難者のためのお茶会開催、および、支援者の後方支援活動
活動期間	2016年4月～2017年3月
活動の成果	<p>【大牟田市内での活動】最初に、行政と共に「支援物資一元化」の仕組みを作り、ボランティアさん方の協力のもと、現地の負担を極力小さく抑えて、物資を必要な方々へお届けできました。次は「お掃除大作戦」。大牟田市へ避難してこられた皆さんに無償貸与するのは決して広くなく新しくもない住宅でしたが、ぴかぴかにお掃除して“足を伸ばしてゆっくりお休みください”のお手紙と折鶴でお迎えしました。そのあとは、「小さなお茶会」の開催です。これは、避難やこれから先の生活の不安をほんのひと時でも忘れてホッとしていただくための場です。仲良しの友達の家、親戚のおばさんち、そんなイメージの会場です。温かい食事や手作りのお菓子でくつろいでいただいています。同時にこの会場は、支援する側の学びの場・情報交換の場にもなりました。</p> <p>【熊本での活動】行政の手の届きにくい障害者支援を行う団体の運営サポートや、被災障害者施設の商品販売力向上のお手伝いをしました。これらの活動で、多くの被災者の方が笑顔になりました。同時に、支援する側の市民も、「ボランティアって、私にもできる活動なのだ」と実感できました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>ボラサポ九州にご寄付くださった皆さま、ありがとうございました。私どもは熊本県に一番近い福岡県＝大牟田市に拠点を持つ団体で、「お隣さんを助けよう」という思いで活動しています。私どもは被災地支援活動のプロではありませんが、これまでの日常活動により、多くの大牟田市民と繋がりを持っており、これが唯一最大の強みでもあります。今回の熊本地震ではこれを活かして、一つ一つの活動に多くの市民に参加いただくことで、当初の計画より大きく・広く・深く展開することができました。ですが、実際に活動をするためには、人と知恵と心だけではどうしようもありません。ボラサポ九州を通じて、皆さまの思いのこもった浄財を助成いただいたからこそです。心より感謝いたします。ある地区ではほとんどの家屋が全壊し撤去されましたが、今は黄色いじゅうたんが一面に広がり『菜の花カフェ』が開設されています。泣きたくなる現実と笑顔あふれる現実、表裏一体です。私どもは一人でも多くの方が笑顔になっていただけるよう、これからも私たちにできる小さな支援を多くの方の手を借りながら続けていきます。最後になりましたが、熊本城の桜、水前寺の湧き水、阿蘇の草原、菊地の紅葉・・・を楽しみに、どうぞ熊本へいらしてください。待ってるモン。ありがとうだモン。</p>

(活動のようす)

